

ビジネスアイデアコンテスト in Himi

◆テーマ

第2の故郷づくり ぼくの・わたしの 思い出の場所

◆ターゲット

首都圏において田舎のない家族

◆アイデアの概要

首都圏に両親の実家がある家は代々その地域に住んでいるため、田舎に憧れる子どもは多いが、現地へ行っても実際には観光になってしまうことが多く、本当の故郷体験はできないことが多い。また、民泊や古民家への宿泊体験などはあっても、知り合い以上になることは大変難しい。なぜならばお互いのプライベートを知らないから。もし、これが何かを通じてプライベートな話ができるような関係になれば、自分の第2の故郷が小さいうちからできるのではないかと考えた。

一般民家への宿泊体験などは福島県三島町など、既に多くの自治体で行っているが、ここに ICT を活用し、尚且つ休耕田等を利用した田畑の代行育成及び、その観察記録をインターネット等で情報提供することにより、人間関係の深化に努めることができるのではないかと考える。勿論、このようなことだけではなく、使われなくなる漁港などを使って、港内における個体減少している魚の繁殖、森林内における甲虫類の育成など、様々なことを代行作業で進行させ、大人にとっては第2の故郷、子どもにとっては将来を考えられるところの実体験というような市全体における取り組みをする。

◆セールスポイント

観光も含めながら、普段の生活に溶け込んだ体験をできることによって、何回もリピートして来ることで、1年間の疑似体験ができることで、固定客を集めることができる。また、コロナ禍においても身元がしっかりと分かるため、斡旋しやすい、相手も来やすい。